

課題名	「平成 29・30 年度分の基本検査項目データの性・年齢別解析」 「人間ドックは、慢性腎臓病の発症抑制に寄与しているのか？」 「人間ドックは、心房細動の発症抑制に寄与しているのか？」
承認番号	調 2019-2 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 健診センター長 氏名 伊藤 美奈子
研究期間	(西暦) 2019 年 7 月 ~ (西暦) 2025 年 3 月
研究の意義・目的	「人間ドック健診データ」からみた、日本人の臨床検査基準値の策定、人間ドック受診者の経年変化、および国民の健康における人間ドックの有用性を明確にすることを目的とします。 日本人間ドック学会とは、「我が国の予防医学に関する学術の振興と高齢者福祉の増進及び勤労者福祉の向上を主たる目的として、日本国民の健康増進の充実に寄与する」と基本規則に掲げている組織です。
研究の方法 (対象期間含む)	2017 年 4 月～2019 年 3 月に当院にて人間ドック健診を受診していただいた 4,227 名を対象とし、この検査データを基に下記①②③の解析を行います。 ①「平成 29・30 年度分の基本検査項目データの性・年齢別解析」 ②「人間ドックは、慢性腎臓病の発症抑制に寄与しているのか？」 ③「人間ドックは、心房細動の発症抑制に寄与しているのか？」 (日本人間ドック学会から当院の人間ドック受診者様の健診のデータを提出してほしいと依頼がありました)
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	本研究の目的のみにデータを利用します。個人情報には研究に使用しません。 医学雑誌や学会に発表される場合はプライバシーを保護するために、受診者の氏名、生年月日、住所など、個人を特定できる情報は公表されず外部に漏れることはありません。 研究対象者からデータ利用不可の連絡があった場合、その旨を記録し解析には用いません。研究対象者が不利益を被ることがないように留意し対処します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	血液、尿、便潜血、身体計測、血圧、視力、眼底、聴力、呼吸器機能、心電図、胸部 X 線、上部消化管内視鏡、上部消化管造影検査、腹部超音波検査、特定健康診査質問票
試料・情報を利用する者の範囲	「公益社団法人 日本人間ドック学会」理事長 篠原 幸人 「人間ドックの有用視に関する大規模研究委員会」委員長 加藤 公則
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 健診センター長 伊藤 美奈子
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 健診センター 氏名伊藤 美奈子 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101